

漆サミット 2023 の開催について（第二報）

今年の漆サミット 2023（下記）は明治大学駿河台キャンパスと日光市日光東照宮で開催します。参加登録の期限を11月9日（金）まで延期しています。参加を希望される方は11月9日までに「氏名、所属、メールアドレス、電話番号」を所定の [Forms](#) か、最下部の QR コードから入力し送信してください。送信できなかった場合は、メール（e-mail: info@urushisummit.jp）か、ファックス（fax: [044-934-7212](tel:044-934-7212)）に必要事項を記入の上で参加登録をお願いします。11月24日（金）に行う懇親会は有料で事前申し込みが必要です。多数のご参加をお待ちしています。

漆サミット 2023

テーマ：「国宝・重要文化財の修理のための日本産漆の特性と評価」

第1日

◇日時：11月24日（金）10:00～16:30（開場：9:30～）

◇場所：明治大学駿河台キャンパスグローバルホール1階グローバルホール

◇内容

開会挨拶	NPO 法人壺木呂の会理事長 本間幸夫	10:00～10:05
	日本漆アカデミー会長 田端雅進	10:05～10:10

(1) 基調講演 10:10～12:00

①「日本産漆の特性と可能性」

東京藝術大学名誉教授 三田村有純

②「日本の工芸を100年つなぐ」

ザ・クリエイション・オブ・ジャパン専務理事兼事務局長 岩関禎子

(2) 昼食・ポスター発表(10:00 ポスター掲示、12:00～12:50 コアタイム、13:00

ポスター撤去) 12:00～13:00

(3) 日本産漆の特性と評価に関わる講演とパネルディスカッション 13:00～16:00

パネルディスカッションのテーマ「日本産漆の特性と評価」

モデレータ 森林総合研究所東北支所 田端雅進

パネリスト ①明治大学名誉教授 宮腰哲雄

②NPO 法人壺木呂の会理事長 本間幸夫

③彦十蒔絵代表 若宮隆志

④（公財）日光社寺文化財保存会技術指導員 佐藤則武

(4) 懇親会（事前申し込みが必要・有料） 18:00～20:00

第2日

◇日時：11月25日（土）10:00～16:00（開場：9:30～）

◇場所：明治大学駿河台キャンパスリバティータワー2階1021教室

◇内容

- (1) 講演会「明治大学と縄文時代の漆文化史研究
-分離融合型研究のこれまでの進展とこれからの課題-」 10:00～12:00
- ①「縄文の漆器の魅力・考古学から」
明治大学文学部教授 阿部芳郎
- ②「縄文時代の日本列島におけるウルシの存在」
明治大学黒耀石研究センター客員教授 能城 修一
- ③「縄文時代の漆文化を科学で見て分かったこと」
明治大学理工学部専任准教授 本多貴之
- ④「明治大学における分離融合型漆研究のこれまでとこれから」
総合討論
- (2) 昼食 12:00～13:00
- (3) 講演会「日本産漆を活用し地方創生を目指す」 13:00～14:00
- ①「輪島市における地方創生の取り組み」
輪島市産業部漆器商工課 細川英邦
- ②「会津地域における地方創生の取り組み」
会津大学短期大学部産業情報学科教授 井波純
- (4) 休憩 14:00～14:15
- (5) 講演会「日本産漆を活かした地方創生の取り組み」 14:15～15:15
- ③「塩尻市における地方創生の取り組み」
塩尻市副市長 石坂健一
- ④「日本一の漆産地岩手県における地域創生の取り組み」
岩手県商工労働観光部産業経済課地域産業課長 金野拓美
- (6) 総合討論 15:15～16:00

第3日

◇日時：11月26日（日）9：30～14：00

◇場所：日光東照宮（日光市）

◇内容

9:30 東武日光駅集合

10:00～12:00 日光東照宮修理見学

講師：（公財）日光社寺文化財保存会技術指導員 佐藤則武

14:00 東武日光駅解散

◇主催：日本漆アカデミー

◇後援：NPO法人 壺木呂の会

参加登録用 QR コード

